

国際学術シンポジウム「近世～近代移行期における周縁的社会集団の世界」事務局
都市・周縁〈史料と社会〉科研

大阪市立大学国際学術シンポジウム 2021
オンラインセミナー(第2回)

連続オンラインセミナーの第2回は、「医療宣教に見る欧米・アジア間の移動と交流—医学史とミッション史の接点で—」と題し、藤本大士氏（育成事業若手派遣研究者、大阪市立大学都市文化研究センター研究員/日本学術振興会特別研究員 PD）が報告します。

日本における医療宣教研究の到達点や課題について、8月に刊行された『医学とキリスト教—日本におけるアメリカ・プロテスタントの医療宣教』（法政大学出版局）の議論を紹介しつつ、本書の医学史・ミッション史研究における位置づけについて確認します。その上で、イギリス・カナダなどから来日した医療宣教師の活動や、医療宣教師の日本以外の国・地域での活動についても概観し、比較研究の可能性について検討します。

皆さまのふるってのご参加をお待ちしております。



左上：「二十五歳当時のペリー翁」、中央：「明治二十六年京都同志社病院付属看護婦学校最初の卒業生」（ともに大久保利武『日本に於けるペリー翁』東京保護会、1929年、国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1177678>）



藤本大士著『医学とキリスト教—日本におけるアメリカ・プロテスタントの医療宣教』（法政大学出版局、2021年）

日時 10月14日(木) 15:30～17:30

内容

報告 藤本大士氏(大阪市立大学 UCRC 研究員/日本学術振興会特別研究員 PD)

「医療宣教に見る欧米・アジア間の移動と交流

—医学史とミッション史の接点で—

コメント 北村昌史氏(大阪市立大学文学研究科)

参考文献 藤本大士著『医学とキリスト教—日本におけるアメリカ・プロテスタントの医療宣教』（法政大学出版局、2021年）

形態 Zoomでの開催

※参加希望の方は、下記事務局まで、事前にお知らせください(会議ID・レジュメを送付)。

連絡・問い合わせ先

大阪市立大学国際学術シンポジウム事務局

〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学大学院文学研究科 佐賀朝研究室気付

E-mail internationalsymposium2021@gmail.com (上記QRコードからダウンロードできます。↑)

※戦略的研究経費、基盤研究(A)20H00030「近世巨大都市・三都の複合的社会構造とその世界史的位置—〈史料と社会〉の視点から—」(代表・塚田孝)の研究活動の一環でもあります。

